

## 第374医療群、第23空軍軍医総監を迎える 374th MDG hosts 23rd. Air Force Surgeon General

January 31, 2019

By Senior Airman Kevin West and Senior Airman Matthew Gilmore  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 1月29日、第374空輸航空団司令官オーティス・C・ジョーンズ大佐(左)と握手を交わす、第23空軍軍医総監ドロシー・ホッグ中将(右)。

空軍の医療業務の目標には、あらゆる領域の医療即応態勢を確立し、合同医療チームの強化、空軍医療業務の変革を推進することが掲げられている。



1

(Photo by Senior Airman Kevin West)

(写真2) 戦術的戦傷救護の実技を終え、1組の第374憲兵中隊の隊員たちと戦術的戦傷救護について話し合う第23空軍軍医総監ドロシー・ホッグ中将(右から3人目)。

空軍の医療業務が要請を受けてすぐに即応できる態勢にあるほか、戦術的戦傷救護の訓練をした憲兵隊員がいることで、現場でより迅速な医療処置を施すことが可能となり、犠牲者をより良い状態で医療スタッフに引き渡すことが可能となる。



2

(Photo by Senior Airman Matthew Gilmore)

(写真3) 招集会で、第374医療群の医療即応力と改革の大切さについて話す第23空軍軍医総監ドロシー・ホッグ中将。



3

(Photo by Senior Airman Matthew Gilmore)